

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 大規模災害対策費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警備部 警備第二課 電話番号：058-271-2424 (内 5761)

E-mail： c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,399 千円

(現計予算額： 4,551 千円 補正後予算額： 7,950 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	4,551	0	0	0	0	0	0	0	4,551
補正 要求額	3,399	0	0	0	0	0	0	0	3,399
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

東日本大震災や熊本地震などの大規模な災害や、近年の記録的豪雨による土砂災害や水害を経験し、そのたびに災害への備え等への問題点を明らかとするなど、想定外とされていた事象に対応ができるよう、大規模災害への対策を見直し、迅速・的確な救出救助や避難誘導、被害の拡大防止等の災害警備活動等を行えるよう、必要な装備資機材の整備等を進めてきたところ、今年発生した令和2年7月豪雨災害を踏まえ、より実効性ある避難に資するよう、自力での避難が困難な高齢者、障がい者、車椅子使用者等への対応にも資する救助資機材の充実を図っていく必要がある。

(2) 事業内容

上記を踏まえ、大規模災害発生時に継続的な災害警備活動を実施するための資機材を整備するとともに、効果的な訓練を実施することにより、被災者の救助・捜索活動を万全なものとする。

- ・ 備蓄食糧の整備（保存食、保存水、携帯食）
- ・ 災害用折りたたみ電動バイクの整備
- 新**・ 水害時救命ボートの整備

（３） 県負担・補助率の考え方

県内での大規模災害発生時における備えに必要な資機材の整備等であり、被災者となった県民等に対する救助や捜索活動に要するものであるため県負担は妥当である。

（４） 類似事業の有無

無し

３ 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	3,390	派遣部隊・警察職員用非常食の備蓄、油圧ショベル等の点検整備
役務費	163	災害用折り畳み電動バイク自賠責保険等
備品購入費	4,397	災害用折り畳み電動バイク、 新 水害時救命ボート
合計	7,950	

決定額の考え方

４ 参考事項

（１） 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
犯罪や暴力、事故の無い地域をつくる。
- ・警察力を強化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
備蓄食糧整備 状況(保存食)	4,605食 (H23)	24,997食 (H28)	31,121食 (H29)	37,245食 (H30)	37,245食 (H31)	100%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
大規模災害に必要な資機材を整備した。
- （1）保存食・保存水の更新整備
- （2）携帯食の更新整備
- （3）災害時現地指揮所の整備

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
順次、各種資機材の整備を行うとともに適正に保管管理しており、災害発生時に効果的な活用ができる状況にある。また、災害派遣部隊員の自活用非常食の備蓄量（7日間）の更新とそれ以外の職員分（3日間）の非常食を増強しており、災害発生時の体制を強化することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	大規模災害時に警察が行う人命救助等に活用するための資機材の整備事業であり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	整備した資機材を適正に保管管理して必要な時に有効活用できるようにしておく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	適正かつ効率的な執行により経費の削減に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 複数年での整備計画を予定しているものは今後も計画的に整備を進めるとともに、新たな課題が発生した場合は、時期を逸せず要望を行う。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 資機材の老朽化に伴い計画的に更新整備を継続して進める必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	